

平成23年度 第1回 九州工業大学 経営協議会 議事次第

日 時 平成23年 6月20日（月） 13:00～15:00

場 所 第一会議室

開 会

- 議長挨拶
- 欠席者等の案内
- 平成22年度 第4回議事要旨の確認
- 平成22年度 第5回持ち回り会議 の審議結果

〔審議事項〕

- (1) 平成22年度決算について
- (2) 平成24年度概算要求について
- (3) 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

〔報告事項〕

- (1) 第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について
- (2) 九州工業大学における東日本大震災による被災者等への学修研究支援等の特別措置に関する規則の制定について

〔協議事項〕

- (1) 評価について

〔その他〕

平成23年度 経営協議会 開催日程

議長謝辞

閉 会

国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（平成23年度第1回）

1. 日時 平成23年 6月20日（月） 13：00～15：10
2. 場所 戸畑キャンパス 事務棟 第一会議室
3. 出席者 片山委員、工藤委員、須藤委員、豊田委員、濱田委員（五十音順）
学長、理事（評価・総務担当）、理事（教育・情報担当）、理事（研究・産学連携担当）、理事（財務担当）、副学長（事務・労務担当）、工学研究院長、情報工学研究院長、生命体工学研究科長
4. 列席者 監事（経営・財務担当）

5. 会議成立

構成員18名のところ、14名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

6. 議長挨拶

議長から、開会にあたり挨拶があった。

また、新たに陪席として参加する学長特別補佐（評価担当）の林和彦教授の紹介が行われた。

7. 議事録の確認

平成22年度第4回経営協議会（平成23年1月21日）の議事要旨について確認が行われ、了承された。

また、平成22年度第5回持ち回り会議の審議結果について報告が行われた。

8. 審議事項

（1）平成22年度決算について

資料に基づき、平成22年度決算について説明が行われ、原案どおり承認された。

なお、本件については、役員会での決議を踏まえて、6月末までに文部科学省へ提出する旨の説明がなされ、了承された。

（2）平成24年度概算要求について

資料に基づき、平成24年度概算要求について説明が行われ、原案どおり承認された。

なお、要求事項の優先順位については、学長に一任することが了承された。

また、本件については、役員会での決議を踏まえて、7月6日までに文部科学省へ提出する旨の説明がなされ、了承された。

（3）平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

資料5-2の概略版に基づき、平成22事業年度の実績を中心に説明が行われ、原案どおり承認された。

このうち、安全保障輸出管理について、企業と同様に、大学でも厳格な運営をしてほしい旨の発言があった。これについて、本学では、早期より検討を行

い、教員がチェックリストに記入する方法等により、形式的なものではなく、大学全体に網がかかる制度としており、他大学からも注目されている旨の説明が行われた。

なお、本件について字句等の修正があった場合は、学長の責任において行い、役員会で決定の後、6月末までに文部科学省へ提出することも併せて了承された。

9. 報告事項

(1) 第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について

資料に基づき、第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果は、前回同様の評価であるとの報告が行われた。

(2) 九州工業大学における東日本大震災による被災者等への学修研究支援等の特別措置に関する規則の制定について

資料に基づき、本学の東日本大震災に係る支援について報告が行われた。

なお、本学の節電対策については、できるだけ教育研究に支障の無い体制により、対前年度比マイナス10パーセントの節電に臨みたい旨の説明が行われた。

また、本学の中期計画にも関連するが、危機管理対策として、ある程度、物資供給の混乱が収束した時点で、備蓄品の再構築を行いたい旨の報告が行われた。

引き続き、関連した意見交換が行われ、主な意見の概要は、以下のとおりであった。

学外委員： 今まで、良い意味で大学間の競争が行われてきたが、震災の影響で、トータルで大学のアクティビティが下がるのは問題である。

受益者・人類・社会の立場からは、研究成果の恩恵は、どの大学・どの教授から生まれたという固有名詞が出なくても良く、名より実を残すことが大切であるため、研究においても、担当分野を区分する等の、他大学との協力・連携関係も必要となってきたのではないか。

学内委員： 九州地区でも議論しているが、教育の質や研究のアクティビティの低下は問題であり、できるだけ協力したいと申し出ている。現在は、東北大学は自力で行う方針であるため、要請を待っている状況である。

また、本学の節電対策としては、トータルのデマンドは下げるが、アクティビティは低下させないように、メリハリをつけた教育研究活動を行いたい。

10. 協議事項

(1) 評価について

資料に基づき、評価について説明及び意見交換が行われ、今後の教育職員評価に生かすこととなった。

11. その他

(1) 平成23年度 経営協議会 開催日程

資料に基づき、次回以降の開催日程について、また、飯塚キャンパス・若松キャンパスでも開催したい旨の説明が行われた。